

事務事業名		佐野市生活研究グループ協議会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農政係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8642	一般	6	1	2	佐野市生活研究グループ協議会支援事業					
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S40年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし				
		事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業			市単独事業		
		任意的事業・義務的事業		任意的事業			任意的事業				
		実施方法		直営			直営				
		事業分類		支援事業			支援事業				
		リーディングプロジェクト		該当なし			該当なし				
		市長マニフェスト		該当なし			該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
補助金の支出 会員相互の連絡調整を図り、会員個々の資質及び生活の向上と地域の活性化を推進するため、活動助成補助金を支出すると同時に、農政課が事務局として活動の支援をしていく。			補助金の支出 協議会の主な事業 6月 ガーデニング講座 12月 食育講座 7月 先進地視察研修 1月 さのまる地産地消推進プロジェクト I 9月 料理講習会 2月 さのまる地産地消推進プロジェクト II 10月 そばまつり参加 3月 総会及び交流研修会								
佐野市生活研究グループ協議会 農村生活研究活動の発展及び地域の活性化を推進することを目的として活動する団体。 平成26年度は、11グループ、67名の会員で組織している。			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			協議会主催の事業・役員会の開催	回	13	13	13	13	13	13	
			市・県主催の事業等への協力	回	10	8	8	8	8	8	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
佐野市生活研究グループ協議会会員			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			単位グループ数	グループ	13	11	12	12	12	12	
			会員数	人	63	67	73	73	73	73	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
目的 農村地域の生活改善等に関する研究活動を行い、農家生活の向上を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			会員による加工販売団体数	団体	7	8	8	8	8	8	
			会員のうち、女性農業士・農業委員数	人	3	3	3	3	3	3	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
農業経営の安定とともに、農家の担い手が育成され、認定農業者・農業生産法人に積極的に利用集積を行ってもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			農地貸借面積(公社保有面積)	ha	1,081.6	1,131.7	1,050.0	1,100.0	1,150.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円		250	250	250	250	237		
	事業費計(A)	千円		250	250	250	250	237		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	250	補助金	250	補助金	250	補助金	237
	人件費	人		1	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間		550	550	550	550	550			
人件費計(B)	千円		2,140	2,168	2,168	2,168	2,168			
トータルコスト(A)+(B)	千円		2,390	2,418	2,418	2,418	2,405			

事務事業名	佐野市生活研究グループ協議会支援事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国・都道府県の生活改善クラブ協議会の設立に伴い、県生活改良普及員(現:普及指導員)の指導により、市町村レベルでの生活改善活動推進のために設立され、補助金を支出することになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	会員の高齢化と新規加入者の減少という問題はあるが、従来の加工・直売活動に加え、国・県が進める農業農村男女共同参画や食育推進といった新たな活動への積極的な協力が見られるようになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	若い世代を魅了するような献立(おせち料理)の講習会を開催

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	会員個々の意識向上や地域の農村女性への啓発活動を行うことにより、地域農業の活性化が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	会員の活動により、加工販売・直売所活動等により地域農業が活性化するとともに、農村女性の地位向上につながるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	地域農業の活性化のために、積極的に活動している団体が対象となっているので妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	今後は現会員を維持し、若い会員を増やしていく。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	事業費については、平成29年度より段階的に減額する。 人件費については、事務局用務を会員自ら行うことは難しく、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	これ以上の受益者負担の増は、会員の意欲減退につながるため難しいと考えられる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	農業経営及び農家生活はこの先も継続されるので、終了時期はない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 会員及び青壮年層を魅了するような事業の企画・検討	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×	青壮年層の会員獲得は、育児や家事の面などからも、家族の理解や支援が欠かせないため難しい。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	